

「議会まちカフェ」

~~~~~～お聴きした意見に対して、

## 【企業誘致関係】

○精華町で会社を経営していて、会社を拡張しようと町内に場所を探しているが、行政に相談しても、場所がない。また、従業員の住宅が町内に少ない。

=委員会の意見=  
今後、研究課題のひとつとします。



## 【農業関係】

○農業従事者が減ると荒廃地が増え、環境にも影響する。環境保全、水質保全を行っているのは、農業従事者である。後継者がいないし、年々農業に関わる人が減つてきている。

=委員会の意見=  
委員会のテーマが農業であることから、念頭に置きテーマの調査研究を行ないます。



## 【くるりんバス関係】

○くるりんバスだと、時間がかかりすぎるので、個々の要望に応じて運行するデマンドバスに期待する。

高齢者など交通弱者にとって、能率よく予約できるのでよい。小型にして、狭い奥地までみずみまで運行する。高齢者でも利用できるように、スマホでも電話でも活用できるような工夫が必要。

=委員会の意見=  
現在デマンド交通の実証中であるので結果を検証してから調査・研究します。

## 【空き家対策・人口減少関係】

○地区集落の人口減で荒廃地が増えている。今後のことを考えると不安である。1年に2~3戸ほどでもいいので移住してほしい。

また、旧集落は、空き家が増えている。人口減少と絡めても良いので空き家対策を早急に実施してほしい。

=委員会の意見=  
今後、研究課題のひとつとします。

○高齢者だけでなく、中・高校生など若者も乗れるようすれば、利用者が増加し、採算がとれるのではないか。高齢者の免許返納後でも支障のない町にしてほしい。

=委員会の意見=  
くるりんバスは高齢者のみの運行ではなく中高生も乗ることができます。通学・通勤に利用できるように、早朝や遅い時間などの運行により集客するのは理解しますが、今後委員会として調査・研究課題とします。

# を開催しました

各委員会から回答します～

## 民生教育常任委員会からの回答

Q 本町には、移住についての支援策、補助金はあるのか。

A 移住に関する助成金支援はありません。

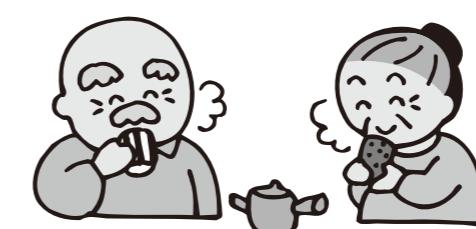


## 高齢者になっても、暮らしやすい精華町に

Q 高齢者対策、高齢者の虐待問題については。

A 健康福祉環境部・高齢福祉課が対応しています。

または、各地域の民生児童委員、町内の人権擁護委員も相談を受け付けています。高齢者にかかわらず虐待は力を合わせて防止していかなければなりません。



Q 子ども 110 番の精華町版を。

A 木津署の管轄であり、子ども 110 番の家と警察は直結しています。

Q ネグレクト問題については。

A 関係部署等は、アンテナを高く張り、対応しています。

Q 保育所の時間延長を。

A 具体的な延長内容をお伺いしてから考えます。

Q 子育て支援の悩み相談窓口はどこか。

A 子育て支援課、母子包括支援センター、学校教育課で相談を受け付けています。



## 子ども目線で まちづくりを考える

Q 子どもの声を聴く・意見を聞く・意見を表明できる場を。

A 町行政・学校現場などでも機会が設けられています。各小・中学校にはカウンセラー(臨床心理士)が配置されています。また、乳幼児については、母子包括支援センター事業が展開されています。